

シオンの子

第 53 号

2025.6



小1 男子 『 龍 』

『 しょうじんのゆめ 』

ぼくのしょうじんのゆめは、
けいさつかんになることです。
なんでけいさつかんになりた
いかというと、わるいことをし
ている人をたいほしてへいわな
国にしたいからです。あと、テ
レビで見たけいさつかんが、かっ
こいいとおもったからです。
けいさつかんになるためには、
べんきょうをがんばるのと、は
やねはやおきをしたり、ごはん
をたくさんたべて、うんどうを
たくさんして体力をつけます。
そして、人にやさしくできるし
んせつな人になりたいです。
けいさつかんになってがくえ
んの人たちをたすけたいです。

小学2年男子

子持山学園
詩・作文コンクール

編集・発行
住所・電話・FAX
ホームページ

社会福祉法人子持山福祉会 児童養護施設 子持山学園

〒377-0203 群馬県渋川市吹屋 201-1

<http://www.komochiyama1952.com/>

TEL 0279-23-1152 FAX 0279-23-1153

Mail komochiyama1952@mist.ocn.ne.jp

うれしかったこと
—子どもたちから学ぶことで—
評議員 後藤弘一



五月晴れの五日、子持山学園の「子どもたちの日の集い」に、今年もお招きを頂き出掛けてきました。

すると、駐車場に車を乗り入れた瞬間に「おやつ、この雰囲気は？」

いつもとは確かに違うより暖かな盛り上がりを感じたのです。出迎える「おはようございます！」の声と、とても丁寧な誘導を頂き、心が温かくなりました。

会場は歓迎の声とともに既に多くの来場者で賑わい、早速式典が始まると、子どもたちの手によってこいのぼりが掲揚され、みんなで「こいのぼり」を歌いました。

♪「やねよりたかい こいのぼり…

…おもしろそうにおよいでる」♪

青空に掲げられたこいのぼりが、新緑輝く子持山を背にして、実に気持ちよさそうにおよぎ始めたのです。

理事長さんのご挨拶の中に、今日の集いの発表や展示は、「今できる感謝の気持ち」のお言葉がございましたが、その思いは、子どもたちと職員の方々の表情と頑張っている姿からはつきりと感じることででき

ました。また、爽やかで心地よい風を、胴体いっぱい抱き込んだこいのぼりの姿にまでそれを感じ取ることができました。

私自身は、評議員として年に数回の会議に出席するくらいで、子どもたちとの交流はほとんどないのですが、園の子どものためにと、どれほど多くの人たちのご支援があるのかを、今更ながらほんの少し理解できたことと、楽しいひと時を過ごしながら、自分自身のできることは何かを考えさせられた一時でした。ありがとうございます。

帰りがけに、私が中学校で教えた園の卒園生に逢うことができました。教え子といってももう立派なお母さんです。可愛いお嬢さんと一緒に話した。ほんの少しだけの立ち話でしたが、明るい笑顔と元気で頑張っている様子に、なんだか勇気をもらえた気がして、駐車場手前の上り坂さえ、とても心地よいものでした。ありがとう。



令和七年度「こどもの日の集い」

施設長あいさつ

施設長 阿久澤 磨

みなさま、こんにちは、本日はお忙しい中、子持山学園「こどもの日の集い」にお越しいただきありがとうございます。

子持山学園は三年前に創立七十周年を迎えましたが、新型コロナウイルスの影響で、記念式典は、残念ながら行うことができませんでした。

また、「こどもの日の集い」も、五年間は縮小して開催していました。

しかし、今年は、新型コロナウイルス前に少し近い形で開催することができました。今日、ご挨拶をいただく、渋川市の副市長様と群馬県北部児童相談所長様を始め多くの御来賓やご近所の方々においでいただくことができました。また、多くの卒園生の顔が見えるのも、嬉しい限りです。

私が子持山学園の施設長になって、素晴らしいなと思ったのは、多くの方々からの様々な御支援や御協力をいただいていることです。

具体的には、御寄付では、寄付金や奨学金などの金銭的な物、野菜・米・お菓子・飲み物などの食料品、卒園生へのスツットの贈呈などの衣類品や生活用品、家電やパソコンなど。御支援、御協力では、書道、絵画、学習、環境整備や行事開催時などの様々なボランティアの方々。御招待では、県内外での体験活動、農産物

の収穫、飲食店での食事などです。本当に子どもたちは様々な経験をさせていただいています。ありがとうございます。

現在、子持山学園には、三歳から十八歳まで三十四名の園生がいます。「こどもの日の集い」は、その園生たちの健やかな成長を願うことと、日頃から様々な御支援や御協力をいただいている皆様に対し、感謝の気持ちを届けたいものです。

今日の「こどもの日の集い」に向け、子どもも職員も精一杯準備をして参りました。それでも、何かと行き届かない点があるうかと思いますが、気持ちをくんでいただき、楽しんでいただければと思います。

言葉整いませんが、歓迎と感謝の挨拶とさせていただきます。

平素から、そして本日も、本当にありがとうございます。

以上は、今年の五月五日に御参加いただけなかった皆様へも、感謝の気持ちを伝えたいと思い、当日の施設長あいさつの要旨を掲載させていただきます。



七十周年記念植樹

子持山学園と キリスト教



1948年 CCFの日本への支援

アメリカの民間団体であるキリスト教児童基金(Christian Childrens Fund)が日本の子どもたちに支援をはじめ、戦後の厳しい環境下の中、児童養護施設の子どもの成長を支えてくれました。

1952年 子持山学園創設

創設者の中澤英三先生は、3月復活節(イースター)に上富坂教会にて船津牧師より洗礼を受け、同年8月7日子持山学園を創設。

同年にCCF日本事務所を設立。子持山学園もその支援を受け、子どもたちの誕生日には、アメリカの教会の方々から1人2ドル(当時780円くらい)支援金が届きました。子どもたちの生活と成長を温かく見守ってもらいました。

1974年 愛のバトンタッチ

やがて日本経済も落ち着きCCFの援助が終了しました。逆に諸外国に目を向けると、厳しい貧困問題が認知されるようになり、当時の支援を受けていた施設長たちが現地を視察し「順送りの恩返し」を決定しました。当時創立者の中澤英三先生もその活動の中心となって、日本キリスト教児童福祉連盟の発足、CCWAフィリピン児童援助プログラム等の活動に積極的に力を尽くしました。

1978年 渋川教会へ転入会(創設者夫妻)

当時は、施設内で礼拝を行っていましたが、強制力を持ってしまう恐れがあり、その後渋川教会に通うことになりました。今でもクリスマスやイースターには渋川教会の牧師先生に来て頂き礼拝を守っています。また、希望者は毎週日曜日に子どもの教会に通っています。



KOMOCHIYAMA GAKUEN
affiliated with
CHRISTIAN CHILDREN'S FUND, INC.
Richmond, Va., U.S.A.

「いと小さき者への愛を」

今年の3月に本園評議員でもある日本キリスト教団渋川教会臂奈津恵牧師に来ていただき、園内で職員研修を行った。子持山学園の歴史、創立者の想い、キリスト教との関わりなどについて、講話していただいた。創立者の中澤英三先生は、児童の健全育成を遂げるため、キリスト教精神に基づいた養育が必要との思いで、創立に至った。

今回の臂牧師の話の中で、子持山学園の理念でもある「いと小さき者への愛を」について、その「いと小さき者」とは、単に子どもだけでなく、私たち養育者自身もいと小さき者であり、不完全な存在であること。その存在を神さまは、どんな時も愛して下さる。私たちは、神さまによって創造された被造物であり、社会的養護に関わる一人ひとりも「いと小さき者」である。神さまを見上げる時、自分の思いだけにとどまることなく、他者との協働によって子どもたちに接していくことができる。私たちの力ではなく、神さまの御手、聖霊によって大人も子どもも、成長していく。

すべては神さまの計画によって成し遂げられることであり、全てがひとつの独立した個であり、無限の可能性を秘めた存在である。子ども自身が判断し、自らの道を選び、自分の力(己の個)をもって進んでいく。この道を誰も阻んではならない。

まさに近年再認識されている子どもの権利、人権擁護、まさにこれこそが子持山学園の原点である「いと小さき者」。誰も阻むことのできない、権利の主体であることを学んだ。創立者の想い、時がたち時代が変わっても、不変の理念を大切に、養育を紡いでいきたい。

時代と共に変わっていくもの、変えてはならないものを常に見極め、子どもたちの最善の利益を求めていきたい。



子どもの教会



児童祝福式



クリスマス

イースター



きつめくみ

「壮行会」

保育士 高平園英

春の訪れを感じる三月に壮行会が行われました。皆で新しい門出を祝いました。準備を進めながら様々なことが思い浮かびなんととも言えない気持ちになる事もありました。

そんな中でも、子どもたちは新しい生活に向け喜々として輝いていました。間際になると出席を添えるK君。施設生活が長い彼は、沢山の巣立ちに立ち合い見送ってきました。今度は送り出される側となり、挨拶を考え、色々な話しをしながら、手の込んだ幼い頃のアルバムに笑顔し、彼自身覚悟もできたと思います。時には不安からか感情をあらわにすることもありました。そんな彼も今では自分の言葉で感謝を伝え、送り出される側として立派に振舞うことが出来ました。これからは自分を大切にし、幸せな人生を歩んでほしい。人生の岐路に立った時、思い出す場所が学園であることを願いこれからも応援していききたいです。



令和6年度 卒園生

学園を卒園し思ったことがあります。それは、学園での生活は不自由なく生活できていた事です。職員さんが見えないところでしてくれたおかげで、自分たちは充実した生活が送れていたと感じました。長い間いると、してくれて当たり前だと思っていたことがありがたい事だったんだと気づきました。

壮行会に出たくなかったと言ってしまったのですが、今振り返ると出て良かったと思います。これから自分の行動には自分で責任を取らなくてはいけないので、羽目を外し過ぎず自分のやりたいことを探しながら幸せな人生を送りたいです。今まで自分を育ててくれた皆さんに感謝を伝えたいです。ありがとうございます。

かがやく星たち



ほし☆ひかり

子どもたちが楽しみにしていたクリスマスがやって来ました。教会の子ども礼拝に通う子どもたちは、クリスマスの由来も知っており特別な一日になります。今年も食堂に子どもと職員が集い、皆でクリスマス礼拝を行うことができました。静かな空気の中、天使が灯りをともしながら入場します。自分が入職前に学園クリスマスに招待された日の記憶が思い出されました。『いと小さき者への愛』の精神を肌で感じた時間でした。翌年度に入職し、六年が経ちました。慌ただしく過ぎる毎日の中で、子どもたちと日々向き合い生活しています。クリスマスに食堂に集い、お祈りをする時間は特別な瞬間です。日々成長する子どもたちと過ごせる毎日に感謝し、楽しい時も苦しい時も、共に喜び、一緒に悩んでくれる職員と過ごせる時間に感謝をしながら、毎年お祈りをしています。

保育士 佐藤千恵



昨年と今年、二年続けて天使をやりました。昨年は前の人に付いていったけれど、今年は先頭に立って歩く速さと足の向きを頑張りました。ペーシエントでは、今までコロナがあってみんなの前では出来なかったけど、今年はみんなの前で発表することが出来ました。一か月前くらいから食堂でセリフや歌を頑張っていました。

クリスマス会を盛り上げるために子どもたちが出し物を披露しました。今年はダンスを練習したので感想を聞きました。

- Q 本番はどうだったかな？
 A 音楽に合わせて踊って楽しかった。
 A 緊張したけど練習も楽しかった。
 Q クリスマスは何が楽しみ？
 A みんなでケーキを食べるのが楽しみ。
 A おいしいものを食べたり、クリスマス会の出し物を見るのが毎年楽しみ。サンタさんが来てくれて嬉しい。





のぞみ わかば

『令和七年 初詣』

今回、中学生二名を連れ、渋川八幡宮で初詣をしてきました。年越しを神社で迎えられ夜の外出は二人にとって良い思い出になったようです。

保育士 池田達哉

★中二

私は初めて一月一日に初詣に行きました。とても寒かったですが、先生と中学生の三人で行った初めての初詣は心に残る思い出でした。今年も大変なことや色々な事があると思いますが、皆様への願い事が叶うように、これからも元気に過ごしていきたいと思います。

★中三

僕は中学三年生で初めて元日に初詣に出掛けました。夜中に出るのは初めてだったので少しワクワクしたことを今でも覚えています。大人と中学生同士で楽しく出掛けられ、いい思い出になりました。人生は何事も分からないので、今出来ることを少しずつ頑張りたいです。

今年のお正月は残念ながら体調不良な子がいたので、みんなで外食をしたり出掛けることが出来ませんでした。それでも普段と違うお正月感を少しは味わえたと思います。24時間テレビのマラソン企画でやささんから頂いた食事券で、ココスやマックをテイクアウトし、各々好きな物を選んで食べたことや、埼玉西部ライオンスの高橋光成選手から頂いた「スイッチ」でみんなで遊んだことです。楽しい経験をすることができました。普段はゲーム機に馴染のない低年齢児ですが、この日は特別感満載でお兄さんたちとゲームを出来ることに大喜び。低年齢児と一緒にゲームをしなくてはならない高年齢児ですが、トラブルの心配もなく、小さな子のことを考えて遊んでくれる優しい一面を見ることができました。本当は大きな子だけで遊べればもっと楽しいのは分かっているけれど、その優しい心が育っていることにお正月から温かい気持ちにさせてもらいました。

保育士 堀口恵美子

星 座



「卒業」

保育士 関健矢

昨年度、私の担当しているホームから二人卒業した児童がいいます。一人は高校を卒業し、もう一人は小学校を卒業しました。

高校を卒業した児童は、第一志望の就職先で四月から働き始め、会社の寮で一人暮らしを始めました。小さい頃から暮らししてきた学園を出て生きていくことは希望と不安でいっぱいだと思いますが、卒業後もよりよい人生になるためのサポートをしたいと思います。

もう一人は、私が入職した四月に小学校に入学しました。入学してからはあつという間でしたが、振り返ると心も体も大きく成長した六年間だったと思います。これから中学生になり更に成長する姿を楽しみにしていきます。

卒業という節目で子どもの成長を感じることが出来るのも、この仕事のやりがいの一つだと思います。

「入学」

児童指導員 長谷川潤

私が所属させていただくことになったシオンホームでは四月から二人の児童が「入学」をするようになりました。

一人は中学校へ、もう一人は高校への入学となります。職員の目線からでは一度経験してしまっているために「誰でも通る道」と捉えてしまいがちですが、本人たちにとっては初めての経験であり期待と不安の両方がとても大きいと思います。

新しく増える同級生、先輩との上下関係、複雑になる勉強等の考え込んでしまうことも多いことでしょう。ですが、環境が変わることで視野も広がり、人間関係の変化や知識の蓄積で新たな価値観を得て成長するよい機会にもなると思います。

学校は学びの場ではありませんが、勉強だけでなく新しく始まった生活の中で大切な何かを多く得られることを願ってやみません。

浅田 シオン



冬の思い出



春の思い出



新任職員紹介

①趣味 ②ひとこと

佐藤ルミ子

①サッカー観戦・季節を感じながらの、のんびり散歩
 ②座右の銘は、笑う門には福来る。簡単なようで、難しい時もあります。その時は気長に小さなありがたさを見つけて感謝するように心掛けています。どうぞよろしくお願い致します。



村田ききょう

①献血・食の駅めぐり

②「へこたれない」が、モットーの村田ききょうです。
 好きな歌手は、AIです。AIの曲は、みんな好きですが、「ママへ」が好きです。涙もろい私ですが、嬉し涙をたくさん流せたらうれしいです。よろしくお願い致します。



長谷川潤

①趣味と言えるようなものがないので、夢中になれる何かを見つけないと思っています。
 ②未熟な部分が多く、職員の方々だけでなく子どもたちからも学ぶことがたくさんあるような毎日ですが、少しずつでも誰かの力になっていければと思います。

星野雅代

①サッカー観戦・ドライブ

②毎回来るたび新しい発見の連続です。子どもの成長は凄まじく、その姿を間近で見られる幸せを感じています。全ては子どもたちのために、子どもたち中心のより良い社会を作っていけたらと思います。

こどもの日の集い

五月五日、子持山学園恒例の「こどもの日の集い」を開催いたしました。

今年は、新型コロナウイルス感染症の流行以来6年ぶりに、卒園生や地域など一般の方々にもお声を掛けられることができました。立派になった多くの卒園生たちが集い、談笑する姿に触れ、安心して学園に帰郷できる機会をようやく設けられたことに安堵しています。また、子ども実行委員会も発足し、子ども発表の検討や模擬店での接待などとおして、子どもたちからも皆様のご支援に対し感謝の気持ちをお伝えしました。

ご来園者の感想

卒園生、ボランティア、行政関係者など
 さまざな方がたくさん見えていて、
 とてもにぎやかで良い雰囲気でした



お心遣いに感謝致します
敬称略

(令和6年12月1日～令和7年5月10日)

【寄附金】

J・A共済連群馬、山口道子、大塚廣末、西郷樹、渋川・北群馬地区更生保護女性会小野上支部、飯塚由美、日本キリスト教団群馬地区婦人会、竹之内久子、石北医院、中澤文子、村井光孝、中島俊一、島田昌子、ブツダラクサー一会、布施英俊、(旬)月建設、日本基督教団渋川教会、大島屋、酒田ひとみ、上富坂教会、(株)沼田アルミ、(株)ファン・ライフカンパニー、住間計画(株)、(株)コラレーション代表取締役山崎健一、新藤武志、曹洞宗青年会、渋川中央ライオンズクラブ、渋川市環境美化推進協議会、一般財団法人篠原欣子記念財団、24時間テレビ、柳沢好邦、(旬)春山商店、金井電気工事(株)、赤城地区更生保護女性会、上原澄次、大類博史、(旬)MEAT星野、伊勢崎ロータリークラブ、小林澄子、渋川教会子ども会、高橋義孝、群馬県社会福祉協議会、佐藤勇、鯉沢自治会、高橋尚弘、狩野恵理、望月栄一、渋川ロータリークラブ、今井貢、子持郵便局、長島英之、高橋慶子、横手商店、宮下智満、島田嘉高、日本善行会群馬県北毛支部、高橋春美、小澤勝治、小野澤昇、戸澤辰也、陸川恭太、石関幸利
匿名希望他 各位

【寄附物品】

全国シヤンメリー協同組合、聖心院 小田桐秀行、熊木
 ちい子、浅井満知子、24時間テレビチャリティ委員会
 釘島伸博、望月栄一、タイ瞑想村、コストコホールセー
 ルジャパン㈱、本多藤恵、J・R東労組高崎地方本部、
 岩倉克治、㈱ブレナスほっともつと、日本鏡鉋組合、
 大類博史、ニラク渋川白井店、㈱チュチュアンナ1%
 クラブ、伊勢亜希子、大竹祐治、金子誠、認定NPO
 法人グッドライフ、中澤えつよ、D'sテーション中之
 条店、高橋光成、公益財団法人毎日新聞東京社会事業
 団、小林澄子、千明廣子、長島英之、石北医院、高橋
 慶子、㈱サニクリン前橋、渋川・北群馬地区更生保
 護女性会小野上支部、インターマリンジャパン㈱ 宮崎
 裕司、公益財団法人山田昇記念財団、萩原潤、笑顔と
 感動を届けるプロジェクト、ワールドメイト、渋川青
 翠高校家庭クラブ、浜大商事㈱、後藤誠、中村光孝、
 都丸昌美、小澤義孝、㈱ドミノ・ピザジャパン・ドミノ・
 ピザ渋川店、日本出版販売㈱、中澤文子、子持郵便局
 長 石田直樹、関口いちご園 関口啓次、石倉健、飯塚
 克昌、高橋春美、大平食品㈱、千明進、富澤京子、

日本キリスト教団
 洪川教会 (株) 原田・ガト
 フェスタハラダ、一般財団法人日本真綿協会
 セントラルバック (株) 野田ガノトマト物流課
 デイリーフーズ (株) 長野工場、三育フーズ (株)
 ホカリフーズ (株) カゴメ工場、(株) サスナデリコム
 ・川商フーズ (株) 長野興農 (株) 本を贈る会
 代表 重田晴子、国分グループ本社 (株)、まる
 か食品 (株)、(株) 清製粉ウエルナ、信栄商事 (株)
 (株) パイロットコーポレーション 伊勢崎工場、
 林ひろ子、マルハニチロ (株) 中央法規出版 (株)
 松村貴幸、渡辺寛・ちか、中央ライフサポー
 トセンター、星野総合商事 (株) 星野恵司、阿
 久津貞司、小政敏、宗本寺 吉水晃三、森英
 明、今井貞、佐藤広美・聖美、吉野ゆうき・
 百花、日本善行会 群馬県北毛支部、(株) イオン
 フランタジ、ガーデンパーティ、カーブス
 群馬沼田、カーブス群馬中之条、カーブス渋
 川25、カーブス大胡、自衛隊群馬地方協力本
 部

匿名希望他 各位



カープスフードドライブ様
沢山のご寄付をありがとうございます

☆ボランティア

〈書道〉 大塚廣末 山口道子
 〈学習〉 都丸昌美 山口幸輔
 〈児童交流・環境整備〉 宮崎満
 児童養護施設支援の会
 佐藤勇 恵子
 〈児童交流・学習〉 小野永子
 〈その他〉 有国際クリーニングセンター

揭示板

★
苦情解決報告

令和6年12月～令和7年5月 5件

〈内容〉

- ① ホーム内子ども同士のトラブル
② 学習用パソコンで学習をしたい

〈結果〉

- ① ホーム会議を開いて双方に意見を伝える改善を求め解決
- ② パソコン学習の担当者へ依頼し実施することによって解決

★群馬県共同募金会

普通自動車免許取得費用補助

退職者より

子持山学園での5年間は、子どもたちの成長に深く関わるかけがえのない時間でした。卒業式では巣立ちの喜びを分かち合い、高校選びや受験では悩みや希望に寄り添い、家庭復帰の場面では新たな一歩を見守るなど、本当に多くの人生の分岐点に携わらせてもらいました。日々の忙しさの中では気づけなかったけれど、仕事を離れた今、改めて自分がとても責任ある立場で子どもたちと向き合っていたことを実感しています。共に過ごした子どもたち、職員の皆さん、本当にありがとうございました。

A photograph of two young men standing side-by-side, smiling. They are both wearing dark blue graduation gowns over their casual clothes. Each is holding a brown diploma folder and a large bouquet of colorful flowers. The man on the left is wearing glasses and has dark hair. The man on the right is wearing a white face mask and has dark hair. They are standing in front of a light-colored wall with a dark door frame visible on the left.

退職者

木村雄太（児童指導員）
時澤夏生（保育士）

お世話になりました

入所児童状況（令和7年6月1日現在）

幼児	4名	中学生	10名
小学生	12名	高校生	8名
計 34名			

☆北極星

子どもの日の集いも、コロナ前の雰囲気に近いのだないかと思えるほど、賑やかな一日となりました。コロナ前の子どもの日を知らない職員や子どもが多くなり、不安の一生懸命準備をして当日を迎えました。失礼なく、おもてなしが出来たでしょうか？感謝の気持ちが出来たでしょうか？

多くの卒園生が来園し昔話に花を咲かせている姿、親になった卒園生をみて涙ぐんでいる姿、心配で大人になった卒園生にアドバイスをしている姿、生活を支えている職員の日々慌ただしい勤務の中にも、やりがいと幸せがみえた一瞬でした。大変だけれど、やっぱり「こどもの日の集い」っていいものですね。

(K)

